

グローバル COE「コンフリクトの人文国際研究教育拠点」研究プロジェクト
「美的近代におけるローカリズムと反ローカリズム」・「シオニズムの考古学」

徳永恂先生講演会

グローバル COE 内の研究プロジェクト「美的近代におけるローカリズムと反ローカリズム」および「シオニズムの考古学」の両グループの連携事業として、日本におけるユダヤ思想文化研究を先導してこられた徳永恂先生の講演会を開催いたします。お気軽にご参加ください。

題目：「大きな物語」の可能性について：フロイトとベンヤミンをめぐって

日時：6月26日（金）16:20～17:50

場所：大阪大学豊中キャンパス 文系総合研究棟5階 L7 講義教室

豊中キャンパス地図をご参照ください。

<http://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/toyonaka.html>

文系総合研究棟は、地図中の[2]文学部・文学研究科の南側、[38] DonDon（食堂）の隣にたつ新しい建物です。

講師プロフィール：

徳永 恂（とくなが まこと）：1929年生まれ。大阪大学名誉教授。神戸・ユダヤ文化研究会代表。阪大在職中に収集されたユダヤ関係文献は、国内屈指の規模を誇る一大蔵書群。日本のユダヤ研究の礎を築いた。

主な著書に『社会哲学の復権』（講談社学術文庫）、『ヴェニスへのゲッターにて』（みすず書房、和辻哲郎賞）、『フランクフルト学派の展開：20世紀思想の断層』（新曜社）、『インド・ユダヤ人の光と闇』（新曜社、小岸昭と共著）、翻訳にアドルノ／ホルクハイマー『啓蒙の弁証法』（岩波文庫）など。

本講演では、現在ご執筆中の新著のなかから、フロイトのミケランジェロ解釈、およびベンヤミンのクレール解釈についてお話いただく予定です。

主催：

グローバル COE「美的近代におけるローカリズムと反ローカリズム」研究プロジェクト
（代表：三谷研爾）、

同「シオニズムの考古学：現代ユダヤ社会におけるディアスポラとイスラエルの相克」
研究プロジェクト（代表：赤尾俊春）

問合せ先：大阪大学文学研究科ドイツ文学研究室 Tel:06-6850-5116